

サンデンフォレストにおける外来種の生育・生息状況とその対策と展望

○ 福田博一、落合清勝（サンデン・ビジネスアソシエイト株式会社）

キーワード：外来種、駆除、特定外来生物

サンデンフォレストは、サンデンホールディングス株式会社が2002年に「環境と産業の矛盾なき共存」をコンセプトとして造成された事業所で、赤城山南麓に総面積64ha（東京ドーム15個分）を有し、その半分を工場用地、残り半分を社有林として整備している。社有林の大部分は、周囲の自然環境と調和した樹種を選定して植林した雑木林である。事業所開設から17年が経過し、間伐や下草刈り等の維持管理を続けてきた結果、現在では里山に特有の在来種が生育・生息する場所となっている。

一方で、サンデンフォレストには、外来生物法で特定外来生物として指定されているアレチウリやアライグマ、要注意外来生物のワルナスビやアメリカザリガニ、他にもアラゲハンゴンソウなどの外来種が確認されている。そのため、2015年から外来種の駆除作業を実施してきた。外来種の生育・生息状況とその対策、展望について報告する。

① 外来種の生育・生息状況の確認方法

アレチウリ、アラゲハンゴンソウ、ワルナスビ、アメリカザリガニは森林整備や植栽管理の作業時に視認によって生育・生息場所を確認した。アライグマは自動撮影カメラで撮影した写真で生息を確認した。

② 外来種への対策

アレチウリとアラゲハンゴンソウは、担当部署スタッフ総出による抜き取りを実施。ワルナスビは、植栽作業の一環として、草刈り機による刈り取りを実施。アメリカザリガニは主催イベントやサンデンフォレスト利用団体による活動内でザリガニ釣りの形で捕獲作業を実施。なお、主催イベント時には、外来種が在来種に及ぼす影響や駆除の必要性についての普及啓発も併せて実施した。

<実施内容と成果>

	アレチウリ	アラゲハンゴンソウ	ワルナスビ	アメリカザリガニ
作業内容	引き抜き	引き抜き	刈り取り	釣り
実施回数	6回	4回	12回	4回
総作業時間	49時間	20時間	(未計測)	(未計測)
総駆除量	約70kg	約34kg	(未計測)	644匹

③ 今後の展望

外来種駆除作業を5年継続してきたことで、対象の外来種のすべてで個体数の減少がみられた。アライグマについては対策が取れていないが、行政と連携して駆除できるよう努めたい。

今後はより効率の良く労力のあまりかからない駆除方法を模索・検討・実験し、これからも地域の自然環境と一体感のある在来種の生息する里山として維持し続けられるよう取り組むことで、群馬の生物多様性および自然環境保全に貢献したい。